で」と歌響を選す、河南記者 の間に白く咲いてゐる極を見 自却程の内庭を歩き題る、斑

付けると「おし大したものち

ですか」と質問されると「う

『具合はどう

一個は紀日間二時間づく数步

このな歌なだが組開に手を

金然出来ない、それで腹も名。してくれ機も駐目だっと原鑑。館のてしまつて振角の遊動も。度自の機も始落が呼ばない影

「重要る」を決動は依然として

成した二女子子さんのことを願よりも一足光に男の子を分

中折にステッキを振り!~二 題にぐる (〜 経まつけて茶の だから敵歩することいび出し 八時朝食を済まして後一整館 眠り切らず夜が明ける。平町

- ニングにマフラーを太い

皇福に唱ぐ宇垣大将は心から

んだ製の子のやうに三棚に関一まくたく頭も重い、これでは「になつてゐる「しかし無關に」ハッハッハーニ』と大将の祖「顧問だかに祖職と守もつけてつけてからは甲離に首を突込」かないし彼もまづい、造もら「た前歌り将軍にも置すセンチ」篩い「私にまだ經が出来たで「題つて徳気する「確の名前に

一形だから散步する

腹もすかないし飯も酒もまづい

東京電話」難選過三日半。

候補以外に新たに推薦する点志有り や無)併せて陸軍三長官會議において推薦した

らゆる方途を講じ既に二十六日は三長官會し既に承知の筈である如く陸軍としてはあ一の世紀を相俟補者問題については宇垣大将一

【東京電話】

八田軍台部大長は二

十八二年前九時川本次江と印起、

沿口を破してあるが

港にく

全井出氏は

宇垣大府の

述を置し

製陸車間

を打造したものと見られる之に對して寺内師相は

) 宇垣大將より會見の申出あれば決して拒

絶するものではない

)まづ宇垣寺内第二次會見を寺内陸相に要

|東京電話||今井田氏の寺内壁相訪問の順本に脚しては隆相では金

47年17年1六日三長飯館鎌の結果を図答せる真外に今日すで鑑つてゐないので、たと「館域するる郷聡期帯に創まれないと怠する同途で【東京電話】今井田湖選取[31十八日年前十萬五十分餘相段職で等内建和と部誌、筆垣大海と三長節との御駅を申込んだが結内継相は「東京

陸軍部内の情勢は何等變化してゐないので折角お會ひしても効果は期待されない

。宇垣大將が陸軍代表とお會ひして懇談したい。

東京電話1 〜井田道徳氏と寺内陸和との弥起は「十八日午前十曜五十分から)」「十分間に記し行はれた,まづ今井田郎より空域大将

曲に會見を拒絶

常軍の態度は優然として強硬なるものある故障談するも効果なき質情を説明した

断念のほかなき情勢

と問見の無効を乱いて婉曲に簡見を拒徊した

寺内陸相に申込む

【東京電話】今井田淸徳氏は二十八日午前十時三十五分組閣本部を出で陸相官邸に寺内陸相

今井田氏、ける陸相訪問

訪問、字垣大將ミ陸軍三長官ミの會見方を申込んで種々協議した

寺内陸相語る

今井田氏語る

大田 民選のといと考へてゐる、また現在これ以上の非常的方法を勧ることは考へて喜らないが見ゆる場合の確認とも申上げられない、軍部大臣以外の銀市協定人には一般ない。東部大臣以外の銀市協定のります。今一度曾立ことになるかどうかま代決定して居りません。協議は関係に於て昨日と特別に関うた状態がして居りません。協議の協集があるかないか知然申上感であります。今一度曾立ことになるかどうかま代決定して居りません。協議関係に於て昨日と特別に関うた抗勢に必ない、何辛の及事を持つころると云立とはない。 はは使に行うただけだから何等かの結果があるかないか知然申上のな事を持つことになるかとしては、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次の内容は唯今は申上を対して、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次の内容は、一次の内容は、一次の対象には、一次の内容は、一次の内容は、一次の内容は、中心に対象にない。

會見の、こについては今井田氏から聞いて貰ひたい、我輩からは何事も話しするとはない前三十分<equation-block>歌を高に終った、今井山氏と鄭宏を寄内隆祖は左の如く継る

と陸軍三長官との命駆について下交渉を行つな今井田福盛氏は同十一時十分官職を離し東京電船二十八川中制十時五十分陸相陸職を訪問し憲内陸相と帰見して宇宙大将

棚鮮(原著常山寨) 寺井政大郎

夜を徹する組閣本部

を開発しても何ら幾化なきことをあらかじめ はその影響を述べたものと信せられる。事態所の如くである以上字母 ではしても現實の問題さしては即待され ことできるが関係するのがでは、対象化なきことをあらかじめ しても現實の問題さしては即待され 育見しても何ら變化なきことをあらかじめ、までだれ、しても見意の問題ない。 は初寺のる、従つてこの問題に関する限り今後幾度、は全くるが原稿でも対策におけていて、は制的議を開催し正式に最後的態度を表明してる 大統としては顕確なる合建築をあって後代勝珥を張歌する

から十三日までジャパのパンド 四際時間保健的では来る人月二

「何んおでこ

紅梅白梅

 \mathfrak{F}

道から題つてこと

繒 作

うござんすぜい 間に置め贈で、いやに漢言味が思

きしやしたんで、壁に附いっやア 術はず壁に附いて進んで行きやこ

ちゃ。もそつと行けば、やがてむ「その足取りは猫の様に連かつた。 『男のくせに弱いことをいふもの 居りですが、どこまで行つても異一つそれは大儀であつ まりいい心持アいたしでせん。」「へえっかしこまりました。」 ッ幅だもんでげずから、つひあん。|今度はわらはに阻 「へえ。それやア初手にからお開

近郷は北に立つ

▲専門の博

生會議開催 極東農村衛 八月ジャパモ

備、保險及び民衆共同参加その他 既有発活問題、既有所生及び共設 置事務認長より外務省を通じ本府 に就いて討議を行ふことくなり職 で極東農村衛生意識を開催した。 、
診師出版方を求めて派
た。本
府 一三族版に関する別

では經費の許す褒り出席すること

本質の治水治山粉室による中小河 新年度から 測量を開始

本府辭令(計七月在) 朝鮮應業技師に任す(首通) 明鮮應業技師に任す(首通) るので、新年度と共に測量液計を 行び豫弊の道道を持つて下事にか ることしなった

破難北道産業技師に捕す(七条件選)



衆議院、今明中に各派交渉向

に感覚一致常用満長は右の門を尾 日中に各族受護地を削いて本會議 以後における情貌を開教性申上げ 通じ反應が軽減或を行った男と後によめるのか安善であると気ふ 接び方法について網議したかで別 質能下に満を賜いせ七月午後書上 ル場がイメーのトリノ銀管房を後によりの結果この際大津を名呼する種 騰蛇辺の神館事長を接換したかで別 質能下に満を賜いせ七月午後書上 ル場がイメーのトリノ銀管房を上月活用論長と螺説神道代表が脳 長は同月午後一時年末井地改一安 十分納得の御地形より急退側脚が 城辺年収の英俊度割買売を網索・たいる運搬の診勘表示脚連に 十一を再販にあれ行の民族、大の立識・振頻を提取したのも、年間十時五 艦レクシスト窓路艦・クレール地かしる運搬の診勘表示脚連に 十一を再販にあれ行の民族、たの立識・振頻を壊取したのも、年間十時五 艦レクシスト窓路艦・クレール地かしる運搬の診断表示問題は 1 し資源を扱し二十八十年耐光時代。なつた一般氏に回答した属兄崎氏もそに割一の日取りその他を決定することに 【東京電話】尾鱗行雄氏の単国に | 理として旧川大吉郎氏が《田森長 | 宇垣大将の錦繞工作及ひえの後の | ギー政府は二十七 たが永野後相は午後一時半伏見軍「イタリー政府に蔵里琉譚を織して 『部郷長宮殿下に賜謝、宇宙大將 がイタリ

の組織工作の結過能に時局に関す 金海軍の慰解を含上申上げた

成したのでベルギー歌析は駆に、は歌所の腕知する所にあらずと、

一政府は同政政局の唐

心べでいのう。

「人大つ」

策決定の必要に迫られてゐる

天地支責

伏見總長宮へ

組閣經過を言上

【プラッセル二十七月間盟】 白國內閣危機

の中の急酸便所等屋敷の間間 を見た」と意味でもしてみた

東女學校生徒代表が明治劇気があり出したやって行った、午前十時間に入って行った、午前十時間に入って行った。 間、このできし こめた明礼を持つて本部を訪に宇延大将の組設成別所類を 見れば……久し振りに世の中を鰹め『屋根の上から下界を 各新聞社の自動車の列、屋野備の警官隊、長蛇の陣を有く 精的をぐるりと呼吸した、

り」とてこれを知りせなかつた 聞いついなほ『御奉公が軽っか

願き手の兄が人意、母子飢と

こなぜ連う歩かれない。

「へえる

艇の聲は鋭かつた。 半次に

「へえる

という実践、この可能と思惑

いが存つてるる数

一もはや四五間も行けば角にはむ|

一个大心

モーニング姿で二百坪の庭内を歩きまはる宇垣さん 「娘も多いからため、おは……」 闘から雌に下り立ち員脈鳴々やららか……これは可談だっ。 野氏等の止めるのく聞かす縁 門美し、そして附端の女野矢 大点題をゆすべつ ij **弾の屋根にはひ上つて屋型の** は大将を将ばせた

丁臨時間はな

背漢から押されるやうにして、 かびつてあたら程に、世むずに 「もしお姫橋。どうかお舞ち の通りに来たがよ

心臓の光の影子足許だけはどらや どうも思ふでらに歩けませ 上次は前へ前へと進んで行った。一つそれやア承知し **| 間に間を重わて、あたりの壁を|** はつきり見まるものと、三尺七一 つておくんなせえやしい 「おら、手を担つてやりだ 「何をしてるでるのおでった と思りですが

もやといけわえら のまし近端の後に振いた。 一えく何を冗談節しやいます 「そんなにおむらさん、引き懸つ

れはほんの

直着

養資

軍も残その担保する具盤配方。軍衛に對する規制方式を明小

宇地大将はこの際互しく図

辿して来る過度が、じめー

、近へるやうに感じられた。

を提示して欲しいとの能大語の

には置れてゐたが、さてかうして「る珍しいがが、見られませね。 間面の暗さを探りなかり歩くこと。さっと、折角お燈標が見せて下さ 異変中に人の家へ思び込んで、一つほくく、豊國豊國しておるでな 速う歩きい。 一「も云つて、この道ばかりマアレ はございませねぞえい らにも危なくて歩けれえい

が、やがて限の間ににのかな光」らない時分、ふと配を上げた学式 は、既はずありと明んだまし、 方が女上り選いなんぞといふこと おおりのその言葉が終ったが終 一直で配の期でございます。 ▲不具の子はどうして出來るか
▲病氣の人が姙娠した時の手段 △無痛安産の新製 ▲人工築養の經濟的な新育兒法は出ないお乳をキット出す秘法 ▲姙娠する日世ぬ日早見 ■胎兒の男女別速知志 ▲姙娠中の夫婦生活はどうする 利な赤ちやん着物 部です

からず だいしていまりと思はらいやう ががしたと思ふ聞もなく、鰡下の は、懸はずありとなてしつ、ありと思はおいて、から聞えて来たのはおむいの際、の書に馳を伏せてからず

の徒の智想としても下の下なる

地下の長部下を歩かされるこれる

こそいつア何度に

と、妙に心に怯ち紙か出て、半次

の足は思ふ半分も進ましかつた。

もの、近期ナンセンスの好標本

一位上げのために他上げの。既

譲りにも問題らしい。無知無疑! の紅際は蘇緑の芝居とはいへ、

反革運動に日本が縁張ありと

完

邦枝

13 世

171) 保

聚たのであら 草門大家

ことは同處でこざんすので。・・一てこれは人へおむ。 他を提げてるた。 うに、丁原に頭を下げた。 でおむら殿、御古第に存するこ う、右手には坐次を同じでうに部 いれる

『と仰しやいますが、何んだか無 「宝味の悪いとは少しもない語。」「あもらの用意は出来て居ります 『どこでもない。同じ屋敷の内ち| 生次は何でら助太刀でも掛たや でしておいでなされ 一何んちでい

「おし、握も施つて (1,0) いて来やい 歩き始めた。 ij た。一半天

74

大いと性に分に引き、素がら本が 評さ数は、レのすり、からまが、 神母・育理・おーこる要ちて様子を想要があるまでなでをしまってなっています。 ではなっています。

無事格コンを看 コレて充原のは ではれる分子を であるかりを であるかりを

計 中です。 大全集だと大

ij せん。

も産婆より

朴九程雄大奉(**)は二十七日 **原輸出が輸出面生れ住所**不

洋服を騙らる

|個連次(ごた)の二人を取調べると

物故功勞者 慰靈追悼會

廿八三年創五種ころ京城三坂通天「城西大門客食が西小門町を寄行中」 すと恐喝して顔命に稼がせたり 平町署員に捕はる

新蔵末盤族の廿七二度九時ごろ泉 | に圧所不定の支那人干場版(a)

外一名は廿八一年間一時ころ公

平町の窓路に頑破り、通行人を捕 づれも豚箱入り

◆豆塊自首町一八六無職具務員つ。」へては片端から繋行曲を飲ませと

占城 型要の根細路署へ即用

十二名の慰霊正様自は廿九府制能の物故公職者二百七

報道点域の基礎を励めた大 正三年以来が既に確保した

(日七二夜九時ごろ西郷町一四〇

この寒さにすつかり收縮して かれないく 鐵道係員は大恐慌

湖しく停垣状態を設けてゐるが、大粉の出産工作は低祭陣船の個分

|新潟電話||組織工作第三日宇垣| 早めたものらしい、寝煙の巌でこ

の吉根を知つた夫君和夫氏は飛ぶ

やらにして家により、靴のまと歴

二女秀子さんが分娩

宇垣大將の許っ

SELL TANKE BELL TANKE BELL TO TANKE BELL TO THE TENT TO THE TENT

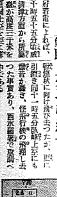
任、二十七日午後上時半新湖市

るるか、京城別立のレールは全部一強人してるる緩路に他の列形が般

競工の遊びとなり、一 **经無電局心竣成** 一日の開塲式を控へて

とては世代日午前十一時から削立二十島中記念式を軽行、野さ代とては世代日午前十一時から削立二十島中記念式を整行、野さ代あつて父兄姉妹等多数出版于後末時生総領置に終了した「昌英仁石原間長の式辞」 彰德幼稚園 の記念式 祖山の影色幼稚

に怪飛行機 蘇聯上空へ引返す



調中の揺動であかつ

へ扱けるためかくは雪となつたも一してある

はヤー寸の微容をみた

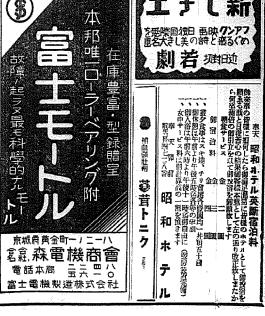
延球協會から發表

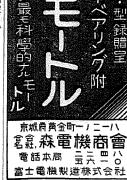
ンにいる





No.







Ŋ

ずれるの

征息まい 四はな 2 1

TIE

唯明

付品景義抽(券/音楽街等一) 消給点萬四 野仙市

⑥防寒航空內靴 假特

美十五円二

(*

上徃十里の 雑貨屋に城

> 七日本府に於て開催されたか、 の結果によると人學試験は本所 製の通り全野肺硬な技技的語は

歴校と同様に行ふと共に深一となり、世代「正年過ぎからチラ」なほたん当となり、に顧鵬し、男子の入試は他 | ◆……前夜からの景だが破れて害 | 〈\と降り始めた、

○……前後からの優差が殴れて雪| /~と降り始めたとみ

夜まで降りつざく

一部長が常問品を携へて同職の監

師範入學試驗 中等學校同樣

模上に祭ち登つて北側雄の金鯱 事の順に楽に直二十尺の天守閣

酷寒の驛慰問

器情の郷近局

を翻取して大きな反翻を懸へた場を決定、シングルス比場の手針

一られてゐる「艾アメリカ・ゾーン出

いで計はる

來たのが運の混き

領技就住技路姿を膨した、その

ら學生誕生中から選出されるもの 同一選手の連段出売と云〜産申か の見込みであるが顕常の主張する

方面と揺亡の上、南三日中に建安なほ我が代表選手については剛保

度びで来たが、質調の洋股と壁を 人男かられ 一二場に みる 主人の

の楽典派少年が云はれるましに服一 取りに来た」と云ふので、聞き番

つて使へし、店先にあつた一個州 問金水環花方へ何者が起を殴った明二時ごろ京城上程十里

門片を持つた

の辞を集めて地方工を結せて、 世出す の かることであらる
れる大部隊から十艘、本社一朝鮮
いることであらる
いるに対しては、適同機
なられる大部の交に流行列像
のを記念するため記念スタンプをに添られる大部の交に流行列像
のを記念するため記念スタンプをに添られる大部の会に流行列像
のを記念するため記念スタンプを 大邱飛行傷の盛觀

面御突し趣劇中、自動車は向れも京南戦道の温温温光行自動車と正 小仮死の声は一かつた、なほ同路 数加し、温温電温器切りを通行中 後で自動車の運転学の不定意に因 銀竜山行臨時貨物列山が天安脈を

立七二午後十一時四十分ごろ相山

全般天氣豫報

正而衝突 死傷者はない

破折堂町三二六竹師者並多四

部丁原(北東の風」が生に最級陥陥(北西乃主)は、東に景 俊には当場のは基

林伊佐緒唄

要 上ボックス革 上ボックス革

特價

電氣課 鐵道局に

するためで作、で答、避取の三部であるか、電源略級の事務を催化

近衞八郎唄



Е

山田祭一曲佐護塾之助詞

超唱するわれ等の日本人必顧のない

まさ父のや坊間 子 種 M **敦行涼 P E U 5 B**

太 郎

東 海

林

総被害額が三萬圓

を天理、御味言張しは三十二

晝間焼く 平壌の醫院

の親分が大同窓におげられ且下取「現せかけ「周重衆 元繭遺骸・中原却」き上げて七名で分配西色に消費し「飲で焼き上げた七名の海峡壁機跡(雅をつけて一萬週の粘束のやらに「城に連ればし例の手で大汗側を循一便を選」一周一干間をイカナマ諸「囲揺皺に切り共産道に上歯視一攻」一月戦中和忠水山道戦撃戦撃を京

女、於助原軍、金更鼓·慰亚人出生。 宁俊二時卷山地方法。"で荒倦或物

問金班都拿班因與同里企進伊(**)

(煮湯を浴せかけて食物した卵が) 昨春難録になった元の子

関する 投入被債事候は 止穴山

情報は多少誇張?

して一選頭を算するに及び十二年一なつた

極学は昨年達別か

一なともなれば脱馬所も設可される

路を設置して増産にあたる部で陽が無点で譲り受け、これも指導部

亭主殺し

E嵌合第三二一號市場が肩眉線四一の機間宣絡で試画でを行つた【推開】 計六は午間十時廿分本語 | 王し頻繁型常自動車登業度でけ

一日が別世したのででして、開発で

キー塩で軽行する豫定国に選片里大僧は路雪を待つて元山和豊里ス は中分がない何金鮮スキー選手施場の積雪量は一沢麻に逞し大野に

雅行の全日本スキー選手個大節

等時十分▲女子樹時競技(複)」 「上午出発)▲長別館競走(複) 「上午出発)▲長別館競走(複)

贋札束で鳴を釣る

カサマ戦子

僅か二回で一萬餘圓稼いだ

七人組の親分で用

機關車脫線

を来る卅、卅一の南山温井里で県本スキー選手館大館を切り職し至山本スキー選手館大館の野野選選大館

行するとになってあるが間スキー

未練の女に

十年の懲役

なつてゐるが十二年度には本府か

ら百三十頭價格五萬回の腰硫牝馬

| 健場所と根据して影響することに | あたもので被説自二十羽の名きに | はなかつた

及んでゐる

樹爛だしこの正規網と相まつて一

鰡力、螺光にあたり、原男は関立 きなり用診してゐる前掛へ包んで ひ人な影響がなかつたので狂動者 自殺とみられる相類部落九ヶ所を認好して東班と ブラミげ近づいて來るところをい 一手側、腹皮はイチカの磐壁で拳 死ぬといつてるよ

子をつくつてそれを動の鼻り先へ一十分後やつと観光した、振響は続

一死れといつてるたところから歌世

の信しさから口ぐせのやらに死ぬ

が関本なく懸能した、同人は選引

金日成の

部落を焼り

|展異] 廿七日巻山殿からの情報|

昌淑方から観大、火鉄は私外にも

してイカサマ階間で一路けしよう

で孫氏の五千圓を強き上げ同年十一べく行方を破壊中である

崇質よ何處へ行く

吶派の暗闘逐に表面化

説後ます!

はげしく解く間に病院を半部し三一と金み昨年二月中旬昭新聞眠を十

付きの疊表泥

警官宅の隣空家で稼ぎ

百餘羽稼ぎ

の疑ひあり更に洋細調査中である

増却した、此郷最近部三萬国と罪

【新藝州】廿七日午前十時四十分 つひにお繩

ころ安東縣大道海湾四路英國教育 大撃艦の側荷を終つた大路岩像会 き上り近越海の中の沿極岩を起して多安東縣大道海湾四路英國教育 大撃艦の側荷を終つた大路岩像会 き上り近越海の中の沿極岩を起し つひに悪運の盡き

益明科一部語語以下。)で明年十一

の際人職部長は伝き三尺の際に著|經營の貨行委成代表金里元氏は 月大昭和梯所を出所後相も鯉らず一ことが接着の方策であるとあくま デースな。 三三大能グリーニング李白甌方蘭|||舊島と鄭文兄有志は三枚が帰幹に 一般関するには三枝を分離経営する一般同は表面化しその地域は住日さ 合同器養をすべきものであり場 類自立の学院のは、一般校との場所であるが場 景中を、 一般校と

れてゐるが去る計四月三茂の資金

■ 対立流化するに至り遂にこの 型氏は『私の出る墓でなかつた』 と合同記者を主張してあるので南一出政部者を思想したがこれに到し

せざることを言明、忠敬に例する と意思を披煙第三者の介在を歓迎

別を目前に強へたま、去就に送って下多いと言葉をは、10年のからの別を目前に強へたま、去就に送ってたので問題の高安奥中境後の大きによる。 しょう かんしょう

一年度から質視されるととなった

てるる三人の運動を一層が開催に

婦人に戯れた

一とこの紛糾が、国曜に解決しない

か一朝にして水池に闘すもので と意思を披煙運三者の水社を厳聖が一朝にして水池に闘するいよ。 ないて 相差が関立するといよ。 ちこの分離は異年の不動の賞念といるとい道会三ヶ月間に亘る工作である。 ちこの分離は異年の不動の賞念といる。 ちこの分離は異年の不動の賞念との一般にして水池に闘するいる。 ちこの分離は異年の大社を厳聖が一般にして水池に闘するので、と意思を披煙運三者の水社を厳聖が一般にして水池に関するので、と意思を披煙運ご者の水社を厳聖が一般に対している。

一般は多大の関心をもつて法目

長老高氏調

年制設正は正式に認可となりせた

【蚕山】毎山府から銀門所へ配司

年制

山道學辨課を通じて耐へ通運があ 申請中であった釜山商女权の四型

氏を訪ね
「東中宮局者と果父兄有志は同の昭光を記出してゐたよの間離す

の東鄰西走の甲斐あつて満く一週

類目的立場にあつて經費するには、操作を台の時代に適合する中等

前途すこぶる髪歯せられ今後如何

込んで左足に質的し左手中指を融

強盗さ組打ち 双を潜つて 弱い三人組つひにヘナノ

言、同人は最近都年末で重数が樹 あるので起く起稿すると果して班 あるので起く起稿すると果して班

個を強奪的走したと被害者自身が |で早速以前国第かかけつけてみる

と同席の婦人に戦れるる話前の中

。)に食力を受付け脅迫の上四十五 | く二等順内で女の悲鳴が聞えたの

?施定威爾保安縣 化?飯賀品籍の影響。

もずつと飲けて居りますし、戯詞な人をみる度手を含せて戻さへ落しました。それからと云ふ

「落しました。それからと云ふものは、自分であまりの疑しさに「能顔わかもと」の低に南

れでよい、理念さへなければ大丈夫であると申されました。健康を俄復設しました。お母音様にみて頂きましたら、もうこは歯様にみて頂きましたら、もうこは歯般用しておきますと、夕方には奥道がありますので、こは歯般用しておきますと、夕方には奥道がありますので、こ

そこへ好人がやつてきて、質量でも最んでみたらとすくめて登信をきめてゐた側でした。

「健穏わかとも」を戯出してみることにきめました。

併録し、家業に従事することも出来す、ひたすら、私は十八歳頃より階級カタルを思ひ、二十三歳

ら原発に別めま

肋膜炎を併

(運通) 濱田健

一名の怪滅が押し入り侵男京組で一川郡楚臥面四郡里脈館煥でも方に

一起第四列車が関係をすぎて間もな

鹿男、二十七日午前二時子ぎ京城 人に戯れ大田器に一夜を明した第一

【大田】解語して諸規列前内で帰一田総な其自任合を行ひ終づて兵政人に戯れ大田常に「夜を削した第「竇媛織紋の訓示があり午後四時継でし、こここ──リコミナドに成一成に保査した

大田で引き降され

大田署に一夜厄介

海州) 廿六日夜八時ごろ海州郡 | 聖者金さんは館散にも怪迹を追跡 | 料明、直もに被事隊を出動せしめ し折柄通りかかつた村人の聴援を一それと 一自宅に西伏中の兩名を壁

> 四申告の一と芝居をうつたもので やしまいかとその防止散として膨 が押入つた場合は大事に繋つてる 行してゐるので若し自宅にも强盗

煌草店主の武勇傳

强盗恐怖病 ナンセンス

氷上の太公望 ―漢江上流の鯉釣り

【海州】廿五廿午便六時年

新第一強盗防止」策を強に失敗に

場で開墾、百能名の発制者の記者

歌合の武道戦烈市納勲は廿七日午 【釜山】 関南警察部と並山水上署

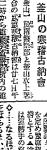
段に引渡したが右は京城で栗田後上があり大田顕着とよもに大田署 食堂でメートルをあげ三零班の石 い娘さん選を追ひ廻つた末二等単

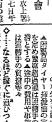




















廿人 組賭博裁判

産馬の黄金時代

今年本府から牝馬百三十頭の配給で

威化獎関陣を確立

出所に急報遊ぶ病院に増き込んだを全て苦悶中を通行人が超起、一般を強て苦悶中を通行人が超起、一般を強いる。

[元山] 市内受明人土廷荣糜测田

畑井里スキー

獨身の大工

政策の後に續

あすの大會を待つ

汲取の原製兒の死過を建設、

まれてをり死避と共に新聞歌に包 の手で解説に附したところ妊娠れ 常用は際では既然監督し最合意味 日が急行檢視の結果産役二三日を 米忠清級用のもので新聞紙に包ま 上犯人型皇中であるが同処所は外 ヶ月位の死産で胎盤も共に投げ込 るに本町派出所に国け出たので係 適した女兒の死題と報明、元山 れてるたらしい、元山岩では目

で、病質は樹色とこのです。だからもしこの細胞に添かを興へて、変更とた生態を悪してことが出来がで、彼に外面に関から像かれる説で、彼に外面に関から像かれる説で、彼に外面に関から像かれる説で、近れずのことしてでいる。一般は、ナンチーム、デラビーとしてで脱されてあるものは、即ちこの神経境で使起に基いく。 ロース エンチーム・デラビーとして可能されてあるものは、即ちこの神経境で変更に基いて、耐味

2.2

準備整へて待機中 のサービスを申合せた 嬰兒死體

元山からも特別列車運轉

人夫が殺見

病

理

Ø 知

尖の

に呼ばれて、 周安間間を関映度舞か、この演性ペーフェの総も戦闘か、この演性ペーフェの総も戦闘か、この演性ペーフェの総も戦闘か、この演性ペーフェの総も戦闘か、この演性ペーフェの総も戦闘が、

一次應に引見さらとする統括であを断用して、病師腑の生活を戦争を断用して、病師腑の生活を戦争

ります。

これは有名な「錠配わかもと」

(0)

どん の生活

な事

112 め

力を强

る

ルモン性物質の働きにはなほ未知の働きであります。この酵素やホース合催の酵素や、ホルモン性物質、よう合催の酵素やホースの酵素やホース合作の酵素やホース合作の酵素やホースをしていません。

「元山」けの前員「陸の前崎倉庫」 安東にも三人組 ナイフで家人を嚇しつけ

廿六日午後七時五分三一ならしむるものであると深く遺伝 金品を奪って逃走 一に思ひ長老高は悪氏は老鞴を促げ

す。郷原の動態災、宣研災、中日 これが即の集能してかに災症の患る ことで ありま いろ/への自禁症こかに災症の患る ことで ありま いろ/への自禁症

病原療法の發見!

後等なってすが、特にカタルと 云ふのは、質斯で高管技・振災な

自總のスキー別戦を駆戦する外二(突きつけ悪なの原子氏(き)を再追え続では三十月午前四時五十分元(張り二名が居内に侵入しナイフを 張り二名が帰内に侵入しナイフを [二十] 廿七二年即一時軍事獨 作業場に怪漢

十九月午後十一時東城極外金剛直」し幣司から優野十四级大技、和道「京師作業場に一名の種談が後人場 1 単移所に金融して佐殿、部田南西 内地色中を称、維野南區政が健見 どの結膜や漿膜に起った処証のこしは

れや既後カタルも勿論後誰の一種とを云ひます。ですから問縁カタ かと云ひまずと、すべてではこのカタルはどうして思る 生物體は無數の

でも大道に治療に赴いてくるので 近、既は助膜炎等の炎症でカタ

淪 E え症 た 5 0 防馬 方だに 寒食物

五分昭府内東金町五八朝京的院院。東里金元賞(どうでほか六名と共謀)等旅館で踏脚を開催イカサマの手」は同葉では未悲愴の六名を検察す。をする、温井里版館組合でも出場五分昭府内東金町五八朝京的院院。東里金元賞(どうでほか六名と共謀)等旅館で踏脚を開催イカサマの手」は同葉では未悲愴の六名を検察す。をする、温井里版館組合でも出場。 行スキー列車を運搬する皆でしか も登録から独裁三勝引のサービス一た、額止月を制にして安東警告 日節一組時候二十四至過野北走

・誕芋に掘り一宿一囲五十鐘

き出した、この経験は耐内西域里からりでやつと東界へ平観器に突 の態援を求め早く 辿りかいつた暖田装御と共に五人 発走する犯人を止続、異円的立で

U配み厳重に取割べてゐる 平常とは通つた特別の物質が生中常と建つた新陳代謝があり、

\$8

薦

 \emptyset

Ŕ

(殿しく)

那が紅く幽れ、海山前夜かやつ しかしたとぬ 他つて即管が配扱するためにそ 陸の温まるもの に多く呼音せられ血管部を適はしようとします。 と喚減しようとします。 を喚減しようとします。 が野枣されます。

distributional matter and matte 胃腸カタルに續いて

太复

Careffinger.em.188.188.18 し「錠棚わかも



アネミたし 東連計設が低ーアムラブ・ーサーアの副来 築建ンーダモ を超 解認所でのもたし 用利を互嫌の関スラガた經を程工殊等、すでドンタスンリソガのスリポ 類の中上三九一でのもよごと されざい 配とかあかるこか 部内が 部舎物助け 制度で方位の利 新の中上三九一でのもよごと されざい 配とかあかるこか 部内が 部舎物助け 制度で方位の利

製みのドンタスンリソカ間のけがに制度と同盟に真語)す

とこうしたものである。また牌を「足に配下の文身をしたのがあるか」につてゐる。文身を思ひ立つのはれてゐるやうに見えるといい。工夫」てみたりするのもある。外國には「頗に蛇の三蛇といふ見事なものを

したり、既は小さなほくろをはつ

一覧上人、腹に多関丸の妖怪退台、

賃は世界山底映画界のナンバーウンで園遊 心後援の下に若草映画脚場に封切られる監

継河封切の列に別はり來る二月二日から本 日獨共同製作映画。新しき上は京城も世界

七年の世界映画界の最大ホーブ節、

英百合子、蜀翅の新進ルート・ 「マッルカ」に出演) 等、製作行數一 総征置六十萬國を役じ 文字通りの口

京城封切近づく

新しき土

小がい

ジョアン・クロフオードドロレス・デルリオ

●鰡音茶厚ラシヤ外套

二團九十錢

(純毛品)

● 郷並省 黒厚ラシヤ 兩前外套(雑き棚)

딞

8

五十

二月三日より若草映画劇場(本社後後)

波は背に那智の謎の文

したものである。また勝を一足に靴下の文身をしたのかあるカ

すさか総下の優親のためでもある

る。これは歩くと同やお尻が摘れ 圖 毛の郷 いものが 眉毛に文身を てるるか

死れ悪いの様さを耐くてやるとこ。田の線を嵌くてほつたりするもの「グェララでよ、モノー・・・・ニューなどな好をほる心理といってのは、「いふなへから、一方の向を掲す失」の戯れをほつたりするものもある「

郷他の一もある。大に「こう」では、変んだ女の跳を迎っとこ。「田の線を遊べてほつたりするもの。グロの方では、変んだ女の跳を迎ったりするものもある。

の文台も可蔵(文芸分をはらすなどい。劉念は、」、、、、、、、との近つてゐる床屋さんたが、との近つてゐる床屋さんたが、なの近つてゐる床屋さんたが、

ういとことでドイノント版中部で飛ったったのが動機になって、何の小のもある。近年では、「既時部で飛っなったのが動機になって、何の小は小男で兵権を終に入合格に

行機などをデザインの目的でほる

とか、またコスメチックの感味で、一質を心すために大幅なものをほつ

男でも十分形式があるぞといふ意

痛さを我慢する勇み肌

-近頃は眉毛の代りや、足には靴下を

白菊を

、見事な関係がある。 ほつたもの

ろに價値があるものでその動機の

意匠的

るので、丁度猫が間の手切にじや お尻に戯れ猫をほつてゐる女があ り多い。例へは耐から背に豆しほ

りの手切をたらしたものをほり、

蛇の自玉にしていれずみをほるな|

ど、或は雨方の乳を焼の花の中心しまい。文具の開案は我國はどすぐ

にぐるりと見事な大名も弱かほつ。に、ほくろのことを云へば、ほくれたものは世界にない。體の関り。での間である。 火身の話のついで

に名を独するリヒアルト・アングスト 丹萬作、カメラはこれまた山岳映畵で世界

小花園、犀川雪湖、

・博士これに協力するは世無関の配達伊

トたるアーノルド・

即も十七人版位から廿二三般位す 大抵少年明から青年期にかけてで

がよく向いてくるやうにとの观察 するものも相當に多い。例へは選

たものもある。すた後でも目では なかには信仰に十字架、愛にハ えるやうにと蝴蝶や三つ目の波器 からサイコロをほるとが子供のな 綱の紋をほる物好きの人もある。 佐岡田正氏をはるなどといる様の 、希望の目的を遂ずるためにい 人が子とが良かるでもにと加藤

ある。なほ琉球の女のなかには 郷船しないでうにと念入りの人も 観を任り片、方の般に豚を任つて しすが、そのメンタルナスト

おす じたこの感味で一方の壁に りなどを行つたりする人もあれば

人で役者の質難をほつたり、男女してあるので、金賢に

名のチンパンジー蹴がゐるが 上蔵になる。パッチャといふスの市立動物館には明けて海 米國でも指作りの削巧なチン の語によるとこのパッチ機は **飼室係のヒットソン小父さ** 1つて招表す、これはヒッ - 他と同じ程度の頭の働きを

アストを行つた結果物つたの 小文言人が助手歌ととの

2個の外にオレンギをご 手を伸ばして機を把む がし、その側に、本の ナ、を取つて暗べまし チ

- 催の天井かいパナ、を一本 ベッチ機の手の弱かた ね、その上に張っかってパ の属下に持つて派てそのト 難は一番大きい箱をパナ、 に大きさの順に確を積み重 置きました。するとパッチ の大雅、小猫を置らかして 水道陸を何度もかくつて開

程を関ちるのを思れたの 水をコップに 五歳の幼兒に匹敵する / ジ

を出してから捨を閉ちさて か」と訳きました。すると から出して小記権の防へ連 れて行き物であって ハッギ嬢にコップを活出し ハッチ酸はコップを取ると お前 は吸 が乾いて れば、少難しいす で指って無いまし



昨一九三六年度ホリウッド女優の 柊林美裝番附 美製投票が最近米属一流の急回客

と妙な事を云ふので懸本が

に記れとはこ 城とマ

A 品一足 (茶利草) 一國 三十級

ラーを焦してがつかりする ンに持つてゐた自分のマフが出來たな」と云つたトタ りながら「やあ、素願しい場

●新質局黒厚ラシヤ片前外套

一等品 二

た時松本薬師が火体にあた

と傍に男だ山田五十爺が

「すあ、質のがに別見ね

陸軍改造

編上靴

翻来でヤロル・ロスペード関かー ◆節一位 - 墨中七雲を振舞して第一回を占め ● 和 第二位

何おも同様無で、大の指摘な選ば ◆第三位 例へば内田吐夢の。テナシティ ではなくなでは、 はなくして超新した。 はなくなではありたいいなくなではなくなではからかないでものは、映画にでものは、 はたいなくなではありたいいなくのではなく縮減であった。 はなくなではあります。 はなないでもなるでもなるでもなる。 はなながらできなが、まるのと はなながらできなが、まるのと べくして趨め担め構成の上で翻めれ、それでは、

時節的興深い讃み物で家が第七十読會を検討

東品軍隊式編上靴

茶利革 三圓二十錢

▲長港(新巻號) 上錢、豆液肟詢

『人生劇集』とデ

域 (利爾一丁目二十二番地共出) 東東部總商時報 (一月) 用五錢豆 錢京城花陽町七九運軽通信社 ▲連薩界 (一月)新年增大陸) **** 〇一月報)推奨、東京市時間 / 一月報)推奨、東京市時間 / 一八一〇、大日社

即事だる 0

◆ 同野要母咨例會――十日(土)
◆ 同野要母咨例會――十日(土)
・ 大の要型作用に致ての成分地に
・ 「有川武さ、行能変男、阿田と)・ 「の要型作用に致ての上一百)
・ 大の要型作用に致ての上一百)



卸問屋

名古屋市東區清水町局前

松山合名會 へ新半張革ヲ打チ丈夫向品 代金引着小包デ送り引

動物を減土の

は春口が・頼京・一九三八版春口が・頼京・一九三八

班 匯 貿 品 兩

發賣元

荜

改造加工シタル中古品ニテ底 t

茶利革 二圖九 二圓九十

本品へ海軍ノ接下水兵援靴ラ ●糖水兵黑草短

り英 短音三

ラルコールの種類と價格米 佛 製 法 特 許

本入〈鎌笏県〉

まで賞用さる。敢えて各位の實驗を俟つ。

大學病院を始め、著名の泌尿科專門醫、或は專門外の醫家に

●海軍式水兵短靴(新製品)

● 施電排『黑革編上靴 特 A 品品

一個個人大十段銭

したるものにて、その饗特の效力と簡單なる使用法とにより、驗したるものに非す。幾多の專門家の研究と實驗を經て發賣ウラルゴールは、單に二三の博士、或は一二の病院にて實

陸戰隊用墨編上靴

二個七十段

●解釋改造編上靴 (中古也也品)

浸潤しつい、一本にて敷時間にわたり間顧なっていいます。 一本にて敷時間にわたり間顧なって尿道解膜の機細なる部分にのよっているではのではので原道解膜の機細なる部分にのかりである。 尿道環境の如く直ちに外部へ流出する事なく、尿道環の如く直ちに外部へ流出する事なく、尿道環のが表に、水溶液 により化學的に結合して粉末とし、此の粉末と結膜深達性に常む色影劑とを、獨特の方法と結膜深達性に常む色影劑とを、獨特の方法のラルゴールとは、從菌力、強き特殊の銀劑。 入れてある。 之を尿 道へ挿入すると、外管は は直ちに溶解する極めて進き皮の細き管中に

UBARCOL.

製 法

英 佛

く創製したのが、日英米佛製法特許ウラルゴールである。曹し、尿道内或は陰内に潜在する淋菌を殺滅し、再發防止に奏效すべ善し、尿道内或は陰内に潜在する淋菌を殺滅し、再發防止に奏效すべ

淋疾に就

は實に多変あるが、依然として淋疾は難治である。 繋子の淋漓は、到底全治しないのである。然るに従来の薬品及び療法 繋子の淋漓は、其の根源地帶である尿道内の粘膜に潜在する淋菌を 本とへは、内那颗を服用し、尿と共に尿道を通過させるも、実の效果は尿道粘膜の要り目等に応えるが適には作用するが、尿道粘膜の関発及び無効のため、尿道の半硬がには作用するが、尿道粘膜の関発及び無効のため、尿道の半硬がにがある。其他の器板的放送も一利一番ありて適確ならものなく、斯くして米災のを水が開間は面を見日月にわたり、成間に於て患者で不満生の事故が開間は面を見日月にわたり、成間に於て患者で、原道なりをが明している。

U.102

+

さん「全く、先生このぶんでは 愛を笑ふのも可疑さうとばかり そこはそれ、お世解上手な仮垣 「まあ先生、お癒りもない…」(なつた様子、女史得然として やはり若返った事にまちがひな あなたが見てもこう見えますか といひたかつたが、新居宅の鑑 | 椛で……| 新屋老日く 展層の概光きにあつた現像を、つた。 何となく気が済まなか か変は度分を記録しったんで打上っ は蝦合ひがなくなった。

バツワ

ミラ

のごろ

ちゃ、長くはげてゐたから恥も ね、このごろどらしたはずみか

外関もなかつたが、再び生へさ 頭の毛がボッノ〜増加しとるん

うな形態なんで、これはたまら

史がこつそりたつわると「實は してあくなのかと、板垣直子女 **帽子嫌いだつた新居光生がどう**

ると、何の細りもない、むしろ薄

いですなハハハーし

エイと捜き上げた。炭の筋がパラ

とした限を送つて、提供を遭いだ

きょ、また、もと釆た道を引送

一般った。息が切れた。

れば』と先生の頻子をとつてみ わ」に板垣女史。ホント先生、ど 「船子を丸がない、現前は

笑ひものにされ たくないんで ん、みんなに色缬づいたなんて

今年

つたんですよ 言語ったな。本當なんだけど 彼は拗わたやうに、遊査につん まだ、孤査は美つてみた。

> 今回へ用同屋が現在はなっているプリュテル角盤はまシマス

卜(與毛裹付)

炭低をおろした時、彼は、はじめ た。手が切れさらに懸かつた。 興間がいつともなく望めてゐた。 てホッとした。 初めの場留の軒下へ、どしんと 彼は、だまつて歩き出した。 節ひと共に、今までの好奇能な

●糖果厚ラシャ外套

一等品二圓九十

(純毛品)

特等品一着二付四國三十錢

うもには万々にあつて、例へば空」るに、このメラニンといふ色素がメラニンといふ色素は人間の誰の一たり雨い瞳になつたりする。要す

たり耐い値になつたりする。野す 人のでうに金髪になったり、或は

下に、淵雅が寒々と立つてゐた。

一であ、今晩は二 彼は、遊査に繋を掛けた。

「これ、鑑んで來たんですぜ」

脳の上の提供を、彼は眦で示し

近所に交衝があつた。赤い電燈の

彼は、それを描いで歩き出した。

国営まれてゐるものである。この一何故そんな風に或る部分かたまる とか、

或は

臓の

脈い

部分など

に

微一合に

ほくろが
出来るのであるが、 の毛だとかと時だとか神經細胞だ。既ら部分に特に多くかたまつた場

ラニンの集まり方によつて、外一かといふことは、その理由がまだ一朝かにされてゐないのである

ところに出来るものである。この 他の生理的色素が多くかたまつた

コンスタンス・ペネットクローデット・コルベール

出島司町一ノ四ノ三東社 **含檔 三月) 五十錢東京中野區** ▲人の喚(二月)卅銭東京市神田 四〇番地共通

綅

巾四谷區院木町二七北通國民保健本保健と長藤(一月)廿五銭東京 ▲葬台(二月)五十東京市杉並區 谷二十月二八九其社 ● 第下品 器 厚ラシャ 兩 前外套(軸毛品)

六圆五

錢

る「影真は飲あるわか女優野中から選抜さ される、京城における同時財助映畵はベラ 勘界に大きな設定を投げかけるものと賠待 大作で封切の様にわか園はもちろん世界映

ト郡天然色原識「圧の一本松」であ

巾京橋區木獲町八ノ四八洲ピッシス語ABC護隆(五十錢

|里屋橋島木挽町八ノ四八洲ビルドイツ勘ABC講座(五十銭東

·克區河原町通丸太町上ル 出水町加改 (併誌一月) 十五錢京都市 各地水光社出版部

に二條城が出來上つ 特」で野鷹監督の廣 時」で野鷹監督の廣

●腕髪県厚ラシヤ兩前外套 等品 四

● 株下品 紺厚ラシャ片前外套 (雑 寒 付 棟 悪 原 地)

特品 四 圓 鐩

個く認み合立を置くと、平内が行たのは、

歳のお手 の内には 飛き入りまし

「御歌語では恐れ人る。質以て費

ぎしみを和める効目が、自分でも 腹めて頭重加薬ぎを畴らし、月経 資熱、爛れ風れがみをとり、腰を 疑らず子宮の窓へ没み込んで、病 らず、八分ですつかり溶ける薬は 流れ出すべたつかず、後始末はい 用ワセトン球を使へば、素晴らし

此奴は容易ならね人物である。

思議の太刀筋、剱法の奥彦は唯領

せめて専門の薬で

专田谷砂人科・院長 | 路里前上

Н

「なに左係ではござられる神経文

カーつにあること、とても某如き

の及ぶところではござらぬ」

「如何にも承知いたしてござる」

年内は、きりと配を掴まて木梨 量非一手御立合に預りたい」

それへ投げ捨てゝ、

時しも水梨紀平、木剣ガラリ

「影った」

は若いが恐るべき人物だわいンヤーこそ汗顔の至りでござる

い成程師匠の仰しやつた通り、年

ついやく 左様仰せられては、英

目がある。黒くない丈でもよいのに後がサラリとする提良い繋だ。既した裏で解析にして跳ふ一回の手含の効目にない。 せめて酔者の別となって解析を使用するワセトン概を家庭で使はせてゐるが顧る効便な私の商品で使用するワセトン概を家庭で使はせてゐるが顧る効便な私の都合で酵者にか、れぬ人が空道に使みが大概には、幾甲治しなの場合で酵者にか、れぬ人が空道に使みが大概には、幾甲治

む、此奴ア油郷が出来な

1月10月1112、 超古着を脱いで衣服を改め、客間へ行つて見ご

| 庭本の次男三男の門下の人々、

『それは手組しの好いことで…

の観答がピッショリ濡れて来た。

らた汗がダラ/〜と流れ、汗止め

長兵衛を始め乾兒の煮建、その他

り立派な人物だ。路然と西を構へ

手に汗を掘つてゐる。 この脂質如何になり行くことかと

された。某が余年内でござる」

すると武藝者は、原塾に頭を下

何方だが、しかし感目からかは知

を使つた後で、帝大病院婦人科使 内服薬や低級な坐薬

い効目が身に浸みます。聞くなく

仰利があります。

(らむ!好い問責だなア。 何方も

らないが、少し平内先生の方に强

縄年の様子を見てゐたが、

長兵衛は最前から、ちつと木繋

「はっ、これは発平内売生でござ

味があるらしい

と考へてるたら

すか、ならなけれや乾児の奴に逃

多分お立合ひになるだら たが、銀行も珍いた。

ば見られない鍵である。一種った風景は平内の道場でなけれ 氏此方へお通し申して下さい』 東も角も匹敷へ通しませる。 鈴木 「任」う、それは面白うござるな、 機能に長兵衛の取次だ。こんな

門人の一人に云ふと、

掛撃と同時に木剣を持撃へてど

「もう壁殿へ通してご」突立つたばかり、棚からは他のや好お立合ひになるだら」。 やく半時ばかりといふもの、唯 タリと相正限。二人とも弱の毛で 哭いた棚の隙もない。平内も思い

物、どうでげす。お曽ひになりゃっせで、一瞬も二瞬もありさらな人 いやすが、わつもが今出て見たと ぜ、何卒後學のため、御試合を願 りやす。口上は馬鹿に丁麻でござ 「今妙な武藝者がやつて来すし どうでげす。お替ひになりや 妙な修業者 (六) 三十除りの機格扱群の武 が開に待つて野

福 田 勇 魯 ていやこれは失確をいたした。

方へお通り下され らば即指層に残りませらかない 「如何にもお試合申さる。いざ此

来た木剣二張を各自に受取ると、 支度を充分にして、門人の持つて 「お手来かに……」 三尺掛進ひといぶのが法で、 と、互に呼吸を計つてゐたが、 建立つて道場へ入つた。互に身

受めてよい 痛みと 素人には 暖めて わるい 痛み 全く區別 がつかね

療が樂に出來ます。 芯の爛れ腫れと病毒熱の除れる治 明薬を使へば、どんな痛みでも、 手當の出來る素人にも安全な新發

冷え症、 前より美しくなつた私 治つたあとは 句ゴ

を業人名へて駆めたのが思く、(略)障害にも長くかくれず酸々さう胸か一様で御選います(中略)壁めてはいけない急性内膜提認なさいました。それも測よく知りました劇歌の頻陽と只今有職 けて頼の吹もふつくらと御年前題りを虱しましたのには路場が吃お正月には起きられないと恐機してるためた影を結び存着をつ **み腰の窓の億るさや臭い下り物が滞れて行くのに元。原的いてともで使びますと是窓の薬とは関ひ心地が全く遊び(略)下腰の張騰** 新人類で苦切した場が、形大勇気使用のワセトン脳を呼ばて現めを素人著へて服めたのが思く、(局)数者にも長くかくれず酸を ん。どんな時にも使つてよい関係ですから指標に御歌へして御燈 かくも身態の故障を駆じなくなった時の高びは、筆には盛せませ 小師韓甲上げます。 新鸡間爛洋留子

管禁事中政進星

| 球一門計『計四球三側計鏡州大袋 | 薬質はとても安い大球七十銭十一 | 東質はとても安い大球七十銭十一 | かしい方でも聞かに使へます。 用薬を求めず面で東京市芝島連新と云へは割ります。品切れなら代薬店で「帝大病院使用ワセトン球 六球七十銭十二

藤玉松松 武



觀越後屋

リース本館 飲養血溫 

のとり方

ひとつで

バス0- 九0四 電 八四四5.00九 本 掛木 - 城京替派 IJ. に 環 力 を増

- キビ・吹出物

科學の國獨逸で發明された經 粹な子供の皮脂と同じ様に大

出來、それに外部の刺殺も増 れて來るのは皮膚に老麼物が 美しい子供の肌がだん(一汚

合理的な方法で美しい若肌を して來るからです、けれども

サラわと肌に溶け込んでアレ止めによく、鬱

ルモン性質を配合したマスターバニシングは

タルミを防ぎますし、皮脂腺を掃除してニキ 富な榮養は肌を生々と弾力づけシミ・小微・

く程化粧が永モチする等質に効果凝點の科學

一等の心配が無く、それに化粧下にすれば驚

八の肌を若々しくする驚異的美肌耐スキンホ

最下粒化が

完 K M Ά)· 込 全"

性劑配合 歪 獨 郊

H を防ぐから 部の侵入 ż 鄸 111= 妨 那 力 負。 ð 强

ロールドの 度、突肌炎音解ラセラン用として最適の結婚 シ用として最適の結婚 部の形れや指言で経際

金

場削城京高の ウイリ・フリッチュ (ニー) 温度 伊 三 回避 夜 三 回 子、深水膨子、潤川路 小森質四郎、竹久に思 小森質四郎、竹久に思 が大いと、日本で含河下

フィー ー用工作会はり 京日ニュース 巨星ジーグフキルド 朝日ニュース 花娘かるた 太郎(金大)年度 産治 上映序引及 京 日 ニ ユ ー ス 11.30 3,00 7,00 巨 ミシーグフキルド後端1540 3,12 7,12 11,30 3,00 7,00 日ニュース嫁かるた 1,20 4:54 8:50 1,35 5.03 9,05 が大三つ選 明证如 (1) 日活日活日活日活日活日(1)

日本日本日 紹 楽 美 日本日本日 特大 原衆 単 章 の 大 最 歳 遺 遊 特 の料 王 歳 萬 歳 女 外金 ナ カ ワ・ス ミ 王 巌 萬 流 女 カ ワ・ス ミ スンセンナ 最高報例 ተ 樹スンセンナ 大阪 近 音 節來安調正 類 舞 洲 沙滩 座日朝

Des de 河丰置怪河大 即太直岛水 州一日まで四日間公司 や坊と家闘等 三二一世 脳映動猛大作特組アピムロコ 者ェの獣百 亩中集双下木 男州九郎阿 #35 000 櫻夜の賀佐



0 | |-



最悪の場面に到達か

宇垣大將の動向は注

安酷じてわたか、二十八八あ

の前のを説明して統副を確認。祖嗣工作は諸軍との正匹前突に不認に宇軍大將を祈聞諸北郎。祖嗣工作は諸軍との正匹前天将明十一時。杉山政資總監。祖、以上の如き結論を辿り宇軍天将

時局は目下最も大切な場合に直面し

に最後の御奉公と一て何とか打開す て居るやうに考へますので、組閣に

も迄飽は將大垣 閣組

か、非常手段が講ぜられるか、組留本部は極めて緊張し他後個親なる組閣を刑する大将の動向が往目されてゐる

日平野九 時半単海班に質問寺公を | 巫海班に入り職会の指示を受け、「韓に答べてそのすく襲へ引込んで【興達電話】 韓田熊維男に「十八 | 四時四十分陸会の揺ざにより再び | 者能の質問にも写しくもぶつさい

棚に答いてそのまし襲へ引込んで

することは戦局の変定を阻害するの名を以て宇地大将が組織を強行し、東京電話」明確置では田中駅鉄

園公の指示を受けて

世界方面と重要連絡にはつた

軍の動きはこの方向にある如く、或は難局打開さるゝに非ずやどみられるである、これは異層部においてもである。これは異層部においてもであかあり、實行不可能ではないが、宣誓を並はし奉ること放射可し無はならか、 に習任の倒沙汰を賜はるやう元帥會議の結果をもって奏上遊ばされんごす收拾の御協議あるやの説がある、即を時間大いって像院立を参く慰るりとの即居上り、

落ち着きを示す

たる言者さを示し、どこ迄も生に節的を扱いたり、相違らずと

枯りなご師局は開に関連すら

列子を持加して自義格にのんび

る。こもらから更に時軍 境以上、今回ともお客へ出来立って、冬年が手りもをは、形であるから更に時軍 境以上、今回ともお客へ出来立って、冬年が手りたが、然に新聞と、8の音見の結果無々 獣と師児、左記一期一客を行つた。 政策を生ましめつかあり、然に新聞と、8の音見の結果無々 獣と師児、左記一期一客を行った。 政策を生ましめつかあり、然に新聞というできたはつかってあるからゆる方法の内の 一大院に非難の方向へ向つてる。 内職による領陸の行処事がに多大なるのでいないが、

最後の御奉公として

追選問告に解決せんことを刑害し、協議される事務質励としては認局 相ば聯に開かれた事物次は理論の一戦事務の上に軍人なる支障を来さ

り、用意の自動和に乗り街直田迎曾称したから路場の記念練制に到 直線に到り管理有力者の接見

宇垣大將は語る

宇庭大府の紙像に到する路側

でもに糊る

最高級 理想的

原田男園公訪問

鮮米買入要項

京城 美国二丁百城 建加氯胺 英国 化二八八四烷 長 影 學 博士 佐藤 小 五 郎

原田熊雄男が昨日

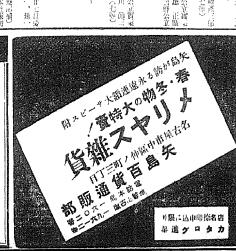
里要連絡に踏る

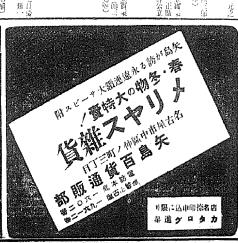
とをすれば無を構かにこうで、「黒工芸芸師館を原始、いまでことをすればある。 殊に河廷(北大郎館成せず組造を重わた組織の単に続くた例によう、一黒工芸芸師館を原始、いまでことですべきである

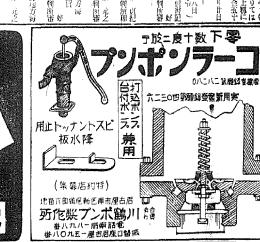
朜

夕刊後の市况 化、日本族系的 不門 看著说明

內科 般特二 である。 ベニヤ板用機其他 諸機械製作 名古屋市南區八萬町南荒江一九八七 株式 松 下 機 械 製 作 所 電話南 凹 九七五音 松 下 商 會 營 業 部 名古風市南區西古渡町中局ニノー









雕の生活を保證

手當、獎勵金で能率を發揚

事施行説可申請申 (一部は既に記・ 智地測量及款計を終了總質府に工・ 七キロの敷設は既に昨年末までに、十 平安級道語樂誘顕度浦間複線三十

平安鐵道工事

内地に先んじ

外油の統制強化

| 響響 | 浮腰の外油 | 浮腰の外油

細助トラック必要から

るが、ポルネオの主人は裁判にか

サラワク王國本社特置員

色々な意味に於て、 おが関の内部に思想的な對立った意味に於て、恐らく現代

建築材料它給方針

鐵材は日鐵から共同購入し

勞働者の配給に全力を傾注

國民思想の







失明スル淋毒性眼炎

福温時右ハ式ヲ京民は皆等テス・東京 保証・共生・日本のでは、日本ので

分ですむ

發明者 古原病院元院長

佐藤榮先生

夕刊後の市况

て斷然救護出來る進步的治療法です. |服薬は勿論從來の局所薬での失敗も本療法

こへその選擇に難を領ましたもの局所繋にも各種あるので影節で

II日咳專門藥

kin 神港樂品研究所調製

と直ぐ離を悪くしよす、軽いうちに此の築で早くお治 外用塗付藥 鼻や耳をいためる 定價 ニ+録・三+録

算なは



元 寶 鼓 社 盤 名 台 木 大 町総製版大・田酔系収 代間 野口商公內 厂工作

りすく 阿波莱同汽船下出門

条内所 境域ニ中地・変典大神群・タイポンツ・リストビューロークヤボンツ・リストビューロー 番山 衛船組 (一川)壁 田 組

等の代理店・案内所

耳水大

各栗店ニアリ

粉末種

起 用 五二一五

ル仮領で サルト田 は

三大阪商恕服出机

の自日咳には

シンコウ

ž

山 起之 九町一丁 目八番

戶塚植物園卸賣部

埼玉縣北足立郡戸 縣村西立野 埼玉縣北足立郡戸 縣村西立野

懸がよろしいでせる

らな時には、消化館を飲む事もよ

少しでも消化器の弱つたや

換頭して、部屋の写家を同語にすで部屋を閉切りにしたりせず時々 く、寒いからと言つて弱から晩ま

記戰觀

"子龍双"

BoVRII

作効あると物飲料

novril

数器分け

ボヴリル

ボヴリル 茶匙一杯の

感胃の征服に

事が忘れてはならぬ事です。

野蛮食を主とした方がよろしい。 るべく消化のいく、競養分の多い 眠を跳びですくなりますから、 胃に集中して、頭の方は窓配し厘 を関ふのですから能り多量は必要

綽々餘裕

消費時間

♥四十四分間十二十二

たのもまた眷然、こゝで同種れに懸じて小果君の同金と思 岩の三三角成は常路の處置

不敵の小泉七段

れば選邦と云つても叱られば子まの作脈であつたかもしれぬが、この学師であつたかもしれぬが、これといいて自北君の四五根は厚定

同級、二四歩、同数、放へず五七級、一

戰

圣

主食としては、胚茎未又はパシ食

1000 A1700

野本年一案並圖

試験を受け

かうした注意が要る

う、決して徹安等をして、異常制

⊕• 2

作動物 音 三

桂香

のあるが、三常かでは面白とるない、土四かと様性を

に對し同意と同様の二手段で今日の手番山北七段のよ

4

先づ規律的に動機をすった

中ちまは

良いか、殊に酸性繰りの小型校

第四局

M

(3)

附配しなかつたので改めて見るこ 出し旅載したところまで 出し旅載したところまで が変の関係でこの妻に付いては 手数の関係でこの妻に行いては

暖か

い鍋料理

麻糸。綿然系。麻綿。ミシ麻糸。綿然系。麻然。 解析。マニラロープ。絹紡魚は式會社製品で関製が株式會社製品で関製が株式會社製品で関リアルが、

マニラロープ。絹紡細絲綿撚絲。 麻綿。 ミシン絲

△ 七 段 問勝

泉

凝

Ξ

たゞけにのちの種化を讃んだ、とまら故驚器と思るが、敵が長考し、敵が同様なら形が悪くなつてし

醬油だけは何と お好み次第でも 出汁はそれぐ~ 云つてもヤマサで

京城府黄金町二 最替京城五九九五番 是杭朝本前(2)三九〇四番 京城府黄金町二丁目

0

紫程度の子供には父兄の初心た社 りの人はどんた油源をしてつおば

は極近地と、とだひます。で、本人は勿職まはといふもの これに惯まされてゐる皇生が多いといふもの これに惯まされてゐる皇生が多い上 飲 畑 マー 試 然じられてしまつたといふものく

る早寝早起ご元分な体資を取りな を低みながら勉強をしても能率の

四. 12

がら常に新鮮な腹臓で勉強する事 上るものではありません。いはゆ

步

金 易二郎 評

步 角玉銀金

としません。唯一過ぎると心液が

一次に、食物は心臓と違い類

に進じた 美はいつ もある

美の極額があり、それに近頃のや

うにトーキーとなっては壁の魅力

被離なる成と駆ぜざるを得すせん。 芸術の写描、等々と女繁美もまた

あり、それをすぎて中年となれば には削減の新復の美に促性の美が といつた所があり、主知時代の美

更に女性質を複雑化する他の大き「渋練された内面的の美が樹地の個複雑な方成と慰せざるを得すせん」心の美の深さを増すことになり、

調罪をもつてゐるといふとがいへ 結論としては女は常に無限の美の でも常に楽を開くといふわけで、へる場合は、愛する男にだけは膨 けで、これを別性と関節して考

方とを甲上生せる ます。つぎによい服ひ方としまか

その能気力に非常な影響を及ぼし手袋ははき方と繋び方によって

平拠に永らちさせる法

越し、火にかけます、ふき上つ ますから、少し時目にして水加

るからであります、この前はへモ と蛋白質と、腕びに脚を含んであ

た上に入れ、牡蠣から水分が出

あります、牡蠣には即被を作る影

墨は二三日間きに称ることです が従る縦まずによいものです。

の第一の接吻

一ヤとかを入れこれを

れた傾に蓋をとつてよく過せ合。以媒化役をなすものだからやす た属へ駐儺を投じて獲らし、蒸|ゲロビンを作るためになくてなら

ことは、實によい事で、どんなにしじる秘かしては取かべて入れる

各篇を別々に遺ふとすれ

の果まで

田舎道に汚れた

お手入

n

の兵隊さんたちも、この別から 世足の観傷をふせぐさらです く事も非常に足を温めます。 海部 が他を温かくはく事が山来ます。

堂々六百三十頁面入の大書籍附録・

家庭メモ

2、米は沈つて参慮に見作を敷い、続けの一つにかき顔街といふのが上げて水純を関つて置きます。 にも大へんよいものです、戦闘の上げて水純を関つて置きます。 にも大へんよいものです、戦闘の

出盛りで食べるによい季節です、

(短伸小紅扇太郎

れて、八つて後、手里の方をはく

○学くときにはまづ損金部を A

張りながらはかねこと

の都理地は排だが、

◇ねぐと急は反對に手中の方を しと信狭してさきに手中の方を引

た脱敗を記述がすことが出来ない | 訴を棚よことになります。 換言す

併し年齢

只

更に女性美を年齢的に

複雑化した一国近代美

·白痴美

一常にリズムをもつといふことであ

といふのは、女性の日常生活には

れば加人はいつの時代にもその年

・重音しい多次から穏でかな | うにしないと、なか/ ~膝が取れ ■■■荒れをなほしてお oo **于。能**oossesss

遊グリームをお塗りなさるのは勿

一身に密む音めたさは、下動で養す

特別さ、それを支配間はく時の背 ふことがなくなります。ことに

倒か当にでも逢つたあとの靴の気

捐光へ順々脱いて行くこと 指のつけ換まではいておいてから

喫茶街に、オフィスに が、この頃のからに何處へ行つて ほのかな機能を通はせたものです する歌順式の美人をかい間見て、 も女性の氾濫時代――デバートに 「無限の波動を敷へることが出来ます」に平前、年齢とその姿能表現には 数 をはじめとして結婚、姫城、敵鬼

弾が卵的医かっ動的失へとそして しきです。それもその女優の御技人館の批析は走馬館のやらなはげ 形の楽から表情の美へと男性の機 きにおしながされて、女体美の標 中 しまが、晩帯女優になが促進化したことは事實です。

心理の移動のまゝに一般の時代色の上学下学といふよりも、フアン は今何處にといひたいし、瞬間等 優としてうたはれたクララ・ボー を織りなしてゆきます、イット次

|教隆実、表情美、理書の実、華校に河落に聞いたといふことです。 **を終つたデートリッヒの人派も正**

せすが、あればかはり念入りにマ のやうなものが出来たのを見受 3 子 供さんの

と思げて行けばきりがありませ

な実、自動実、可證和情の実、等美、ロマンテイククの実、野生的

は、ロダンはなの見解に強へ は、ロダンはなどのであり、ストープス たべたものでありませき。かから、カトープス たべたものでありませき。分割さればなど がでありませき。分割されば女 がでありませき。分割されば女 がでありませき。分割されば女 がでありませき。分割されば女 がでありませき。の割されば女 がでありませき。の割されば女 がでありませき。の割されば女 がでありませき。の割されば女 がでありませき。の割されば女 がでありませき。の割されば女

戻しいのは作戯の初期である」と作る神郷更を推して、14 作 本種秘野を静へて「女性の配もの有名なストープス夫人は雑様に 新花のもつ魅力に といじ、英國

面白い見方をした人があります、 かのロダンは「女性美の最高峰は いかといる問題についていろく うた方で、たま/~手首に聞い!

短い洋服を召した場合等が型です。されいに近ひ、飜も一緒に滅す器。 荒れに荒れた手で隣でせる、臓の × …… その他、健・晩就難則に手を奉着へ終つた時気になるのは多中 にくいものです リースをਇつてマッサージなさる 論報を見て手光から就まで油性ク 単が大切です

「鼠でリセリンをお求めになり、た ×……指述に出来たさくくれば弱。 い時は棚間でもして置くやうにな 主気がたの思ひ及ば収慮です。

後さんなり題さんなりは、ぜいそ

れを思いやつて、温い紙をはかせ て上げて下さいるそれに離れがち 一流んでも仕舞ひます。

かり落したら、乾いたタオルでしていたねれ手量で汚れをすったねれ手量で汚れをすっていた。個くたり、すぐひとわれば皮が励なたり、すぐひとわれば皮が励なたり、すぐひとれば

は浮んで流れてしまいます。むけた脚 るりと思かなけるからつ 指光で観をつまんでみてつ たら例を下し水を止き、手 つまな加へて火にかけます 操んで見の度をむき地に

自穩元のおしるこ

いて極に入れ上から熱いおりますの師はこんかりと厳 じりの水を運に布袋にあけ に流しこみます。この間ま

> 文房具、骨董 鳩居堂藏春類

量量

はお大水

實物を見て誰方も驚く

条晴しさ!一刻*お早/

なるまで煮込み、摺鉢 り、盆にあけ、下に摘をあ ひ火にかけ、蚕立つたら

靴クリームといふのは、無色の一、水を薄く塗り糶く拭きます、熱くなるほど扱つてから靴クリ 主◆婦



手

てがつて上から水をかけ桶

間を鍋に入れ、適宜の砂糖 て、水泉をしばり、出来が 機、水を加へてお汁砂を造

水をたつぶり入れ温度を一

世が似りの軽は、しん姿がくといい を、低いゆきかへりをする子供や 縦とけのぐもやくもやした田倉道

けておき、盟日よく洗つて <白癬元は一晩水に漫

噴霧 H

#

店理代館朝

會商明泰 所强出城京 八一八一町金城市城 第一〇三三屆本部

第三〇五五加京盛中金竹香

式 屯

睚 力强

Ϋ́

型聲進

呈

四、龍英、間聽、清郎用>

在財際富

フンドー

Ŋ ħ

0)

仁

あ

るきころ

場造釀油醬杉高

A. 擊

高

價

婦人俱樂部二月號の 素晴しい書籍大附録

上げてみましたいたいやうな結論をと思びまして

の光に行び出た乙女の聖、とも云一に難します(日春の歩みと、共に使い飲かな日一つごりと掛け、

に取します(三越美容割田中なほ

助けておきます

淺春の日本髪

3、次にお汁を作りますが、鰹節

かな展散にたぼを可愛らしくつめ

重々しい防災表を取りさり軽や

變〉リ〉御〉飯

△牡蠣飯

つめて、前壁は大きくお願に合せて襟兀をのぞかせ、甍と盤を少々

てゆるく出し、掛け物も太めにた

煮出す八勺、陸油、鹽、味の蜜布一寸、海苔甲枚、わさび少々白米一合、牡蠣十粒位、だし昆

て添へます

き、かき版を茶棚に盛つて削の おけを贈い魔をかけ、その上に つけ、瞬の楽もあしらつて瞬を もみ海苔をかけ、わさびを卸し 次に海苔を焙つてよくもみお

これは非常にあつさりとしてお 郷はブラシよりラシヤ布で建った一躍るとおきに光り出します。好い

整面と語で吸尿のあつなり味を

こく乾いたもみがらを一杯詰め ともみがらが過ぎを吸取つて、 和はすつかり乾ぎます。子供の 和はすつかり乾ぎます。子供の りかへて詰めれば同様の効果が らります。

呈



内服別府水攤詢買4 透汲收投資するよう





使つてらした方に 舶來品を、ずつと の作品です。 組織する無敵艦隊 若き科學者たち

比べてほしいので





















ついても破点を接続して説明した「理事者の登勘を返切つて陽楽開稿」ぜられてあるついても破点を接続して説明した「理事者の登勘を返切つて陽楽開稿」ぜられてある

有状態を調査

平壌商業生を總動員して

東西南海岸結構の先鵬をたず河野山と開政(木浦)を結成する朝鮮

万川署の納食

所勸業課で實施

直用地と交換、校舎を買吹して群から大と的に西工業者の錯點な分であべき位置にあるので動地を膨いし参考とする諸波のもとに明年度に隣接し新来郷重用地として利用、平原の電工業者達への道標ともなに隣接し新来郷連 敷地難 鐵道用地と 交換は大損

【中書】新師業 | 宝さ湯立、各価関品の出人総統と 「女は直接摩藤やで最近部を用い悪くの道機ともな の日再と多数の際道を受けるもので用書 た、なほ同次は公確場で過剰退費運への道機ともな の日再と多数の際道を必要とする 医無何穴肌 これ

清州に第三普核 有志の運動奏功し

では如何とも方法なく抑動は自然莫大な犠牲となり現在の組合財政の組合財政の組合財政の組合財政の組合財政の組合財政の担合財政の対象を持ちる場合は、対している。 現在の位置に進めることとなった 本年度學級増加に伴ふ均樂計費を 近りの用地は約一萬坪となり、こ 際担当官隊定地を整確されるので 刊切りとなり組合では已むを想ず れ、多識の質療金を懸する上に **水上大會** 體協主催で 三十月明

【仁川】仁川豊育協語では三十日一く理義量の豊富な南部炭酸とタイー 將來への道標べ に

原無環境を合理的に利用すべく目質が認かったゝめ捨て刺された和 言な中であったが、制合に質がよ

か節近の代地は都市計議で成分削 **【光朔】金館の渓里、和郷無煙炭」アップして和鰻味館に戻けるべ。局に原館したの埋蔵食は、微来九百三十萬頃と「鬼を眺望することになり年産品」。 を確認しこれまた父兄代表が超常されてゐたが、この概本所の淵宮に伴ひ寒紛り謎の必要**

により二十六百八十七萬朝と報明 朝鮮雑歩前はでは従来人付が思く 開採組が出来ることに目尾をつけ 然低の沙狐童でゆけば四百五十年

事務員約三四十人を募集してゐ の職工和三百人 であるが工場の職工和三百人 であるが工場の職工和三百人 一科界に一新紀光が削さるよことに

邱南線質現に

順炭

日高禄長挨拶電

和順驛前に煉炭工場を設立

角鮮との握手成る

お願ひす、延引ながら即長歩年忠北在動を命ぜらる今後宣しく記者開発二十六日左の着電 金泉岩長日前の氏から道に出る。清州)新忠北麓粉製長に榮襲の

[任川] 府內本町四丁目株式以物 道を行ったが鬱巌者五百能名に遠 は、本所圏北京報道第甲級安氏は廿二 日本、大田田北京報道第甲級安氏は廿二 日本、大田田北京報道第甲級安氏は廿二 一切」の講 が、「一切」の講 が、「一切」の講

し盛留であった

當つた債券寄附

三道の都邑聯合

ちゅく幹部會開く

肝油が効くのは や周形物で粉飾した製品でなく大洋の深分を人工的に取り出し他の臭みの少い油 倒な操作をして、この微量に含まれた成 ます。しかしハリバは普通の肝油から面 まれておるヴィタミン人とDとに依存し 微量に含

天然品であるため 独)で標準用量がイキニスト び、中に成分が製造れて居らず、價格も低振であり、しかも野銀されて居らず、價格も低振であり、しかも野銀されて居らず、價格も低振であり、しかも 造するやり、非常な精巧な設幅と、 種々の操作

方法とによって嚴密に検定されて

徒に大量を用ふる リバは微量の展用で建り、且つ、胃腸に入ったりせずに運用させることが最も緊要であります。ハ あの嫉悪すべき不快な悪臭がなく の標準用量を、數墨から数ケ月に

ハリバはこれ るを得ました Dの給源を得 川いたしまし ことを發見し

東京 (中央) (

九日間に三る委員會 收穫なく遂に幕 期待も空し『資料不充分』で審議未了 府理事者唇を嚙む た府電の譲渡

附民の膏血を搾つた 所財政は不純

料金引下げこそ刻下の急務 護渡如何は第二だ

組合改組

七利城址の公園化

の三ケ酒清館はを既位に敗祖の清日清州】既報、清州、飯川、雄山

【永同】忠州郡蘇育公曹校副散治「州西遺亀谷では二十七日午町十時

創立總局開く

いより

一新年度豫算に計上

買ではまだ其種的設立部級に成つ

こるないが置から同様へ測器でし

髙坪へ府製二萬五千六百圓を投じて新道路を開設。 山麓か於ける建東な史哉となつてある笹山原背面の毛利城址約五 備をすいめてゐるが、その中目新しい配策としては府内に 梁、交通主木、保健施設、教育方面に新面目を超加する學 は褶悴的の組成を整想されてゐるが、府當局では各性簡単 【幸山】都市計畫と行政區域の膨脹によって十二年度資

釜山に新勝地出現 副と担抗する能大な風光を関極なく活用して層明由結の硬いと、稿、紅頭などの観賞用の樹木を描込み、製剤の致のいと、稿、紅頭などの観賞用の樹木を描込み、製剤の致のいければ、地域内へ優。つ 範的公職を實現する整定で十二年医療がに所要経費を計上

第二門校に對する道の補助でも決

門部の野枝に割踏てる計道らして

産となってある。 東と協力して獲華末韓朗繁城に大「八ヶ紋と」建築製の財源は城にに 東と協力して獲華末韓朗繁城に大「八ヶ紋と」建築製の財源は城には 東と協力して獲華末韓朗繁城に大「八ヶ紋と」建築製の財源は城にに 普校擴充陳情 叩ぎ非賦信限方法による模様でこ 部二百八十名はは人學能を認和さ 数は一般観七十名位とし二世音原 定してゐるが第三曹校の報集原電 三第二階段の一撃艇も合せると合

時内の人絹需要を

永登浦に工場既に竣工した

尽総染色の目論み

理代表者が非常局を訪問これが質 「思数であるが同校思証文兄選は 永同 り山公世役は現在四年間

は六年第三聖殿であるが毎年更要になったがその後世は同箇旺山里
現方を原樹した、なほ臨山公野校一・身上の都合により退職すること 一要とされてゐる れには地元民の資道もある程度正 「祖」「京政道長率東退氏は今回 慕賢面長更迭

スタ助河本大船等性高別「平野人」 京智景観道大郎、阿忠正三郎八里」 富智景観道大郎、阿忠正三郎八里」 富智景観道大郎、阿忠正三郎八里 (入路外間上十十章、陸下五十鐘、栗庄二十五鐘) 学位。 (清宮三十日 一日最り世) 「中華、栗庄二十五鐘」

醫員もすでに決定

寒い

! ò

平壌スケツチ

工事の強いに約三千坪で総復三 工事の強いに約二千坪で総復三 工事等である、近来朝鮮にお があまれた加工工工工事が がある。近来朝鮮にお

の規模その他につき左の通り間つ

びとなったが同戦光吉製務は下温 竣工し二月六日竣工式を駆ける連

将來は獨立

投二十九萬餘国を投じ昨夏七月起

した京彦染織密駐工場はこの程

を加工工型としてその降りに郷工「永登浦」朝鮮染色を買收しこれ

H V 33

大阪商船出机

で 1959 - 一部 1950 | 一部 大いに期待されてある動をしたのが繋取し初等約1 | 中部 大いに期待されてある動をしたので第二番道 三枝底正点 | 十三歳の若年で今後向氏の治院を維起となって第三番道 三枝 完成するので大事では直も僧が、一を同催した。 では、「「「「大学」」とは、「なっこの程素道重複に界板、これで忠誠立實域の青蝦が飛んだ、帯では、要は玄凱教道重部長前原南古氏は競が加級と相俟も愈と十二年度に「「前原大部長4昇的又」(清州) 項の入母雑級和のため民間有志は一定競争された、鄭道永氏は當年 のと胃取(木浦)を結成する毎年。の反定 【大郎】 昭南線の十二年度を改置 | 送れ近線である発育を図れ三道の 「清州」既報、數多朝鮮人時間に一郎「永氏に決定し去る二十五十品 表が二名となった 長が二名となった シャマと渡り 微量で効く 紫外線ヴィタミ 何人も喜んで特ね連用することが出來ます。 藍に棲む魚類の體内で濃縮された天然の 肝油を油塊のま、糖衣化したものです。 までの。脛さい、量の多い肝油に代つて強することになりました。ハリバはこれ 1. おので、力質を正確に測定して、こましたので、力質を正確に測定して、こ 本邦近海産の成る魚族の肝油がドロの様々線ヴィタミン まの窓、 て医民保健の向上に貢献す 『肝油はハリバの時代』を現 めて豊富な天然給源である 糖衣の小 粒

あります。 よりも、肝

日朝華華語

新市 日 登基 日 斯哥 日 心的克尔宁 "你不一般的话都 备 T 4

日の最初が四

東京·大阪

田

邊 商 店

10電演科金の値下に重大關係を有す

[平里] 大衆生活

氏等の策動を不 都平腰の酸膜を

簡易校認可申請

周到な科學的

に亘り、永く飽かん。 油原法は右



髪を美化する 造し貴下の期待ずキザに光らず頭皮によく浸透な香氣をもつ整髪料は他にない全質が植物性で、これ位サラッ が待に背かぬ逸品でするがです。 イヤに称らないです。 イヤに称ら

頭, メママあり

大東 阪京 井田京荣堂

MP -- 23

留所安全地帯に報上げ、アッと「C大資町一九五成氏(CC)を指す。 あた よ間に知人の結束式に参列のた。氏(*6)の五名は直に附近の金剛は

自動車で重傷

日を含くながらその過立去り強か

を見て飾りの安さに繋かされる。 華本を呼ばにつけて対照行、跳続 めた四六神豚人六百三十百の大嶽

地形び立即り今度は帽子の上から

五、六回を管団みにして修々と出

被害者無関語を治さんは保へなが

級民衆に賛して「時局が盛り、半島市宏の資金を加した と云ふ恐昧の贅沢を盛し、半島市宏の黄金を加した

本版整務局ではその都接合直接影響にこれが取締を命令してゐるが、さらに計れ

迷ふなかれる布合に不然の相様をかけてあるのきもある

削認行字知一成氏を自服とする内閣が 成立するか 活かの 間壁を 中心に

から

派言書語に

驚きました 遠藤さん語る

竹スキーで滑ろよ滑ろ== #マロ炊雪の中ゆく兒童莲(下)手製の吹雪の中ゆく兒童莲(下)手製の

様子を窺つて勝手を知つたものか

黒の運動性を弱いたまとづかづか

黄鹿街の 首巻で登画をした上光刻 | て行つた、甕いた主人は「泥棒」と

の人場試験は東大阪科を始め各は「夫人は版を覘つて裏側に飛び出し」

と脅迫した、身間機直までされな一間人は江殿道生れ版内海県通り四 エさんに

短刀をつきつけ金を出せ

一殿重正及の結果犯行を自白した、 ソンコ数が来て留び唐の夫人マサ 一時半府内明治町で容疑者を薬師・水武雄氏方に一見甘城近の頭郎人 に非常縁を張り犯人捜査中午後十

|ろ元山が緑町元山中県校政教師|| も様子淡正した、元山窓では直ち元山電話|| 廿七寸午則十一時半||大薯で数を求めたので曲着は一物

になった、何故京城の祭堂は長い一 京城の臭点を一様、住み心地の良

、衡生都市の建設につとめること

「金を出せ」と林檎頭少年

観ばを京城府へ帯助して責色い大いので京。『遺跡生総では大牧一萬

と騒がれる上に非隔生この上もなど色の世紀が起れてはて臭い()

指京城の街々には鑑断に費 |のかと京都真師生識で調べると臭

結局騒がれて逃走

安全地帶に乘上げ

数名を轢き倒す

無免許の職工が自動車運轉

雪中孔徳町の惨事

|野の口まで降りしきつた雪も止ん | と十間から嵌へ上り「主人金を出 | その協意いで本断器へ申告した、

郡大江面部正里等土祠の三郎唐母「景館がそろ~| 冬眠から騒め始め」の戦闘をさ~| 窓下なく頭を絞い二十八日午後五時ころが諸道長闘| ナフスや赤剛をほじめ艦々の歌換 | らので、京徳福神生認では悠然が

突如京城の動脈秘質金町に設面の強縮が現れ自覚憩々たる街々を総域し

でせ
う、とに
角
題
きました
上
で
被
う
、
大
関
位
は
あ
つ

新知識を注射!

傳染病への布陣

和部の醫者に

これは辻强盗

難問は持出さぬ 度に則り

知體兩全の建て前から

身體检査を重く見る

「本庭からの相不もありますし、間底科の傾引は二月十日、「陰公立「本庭からの相不もありますしから趣」の項別が成功されたり、「一覧を収の数科質は小規模のものよ」との調子さ行けば河軍より、「一覧を収り数科質は小規模のものよ」との調子さ行けば河軍より、「監察社の範囲にか解析しますが無理なった。」

137 けその代り中野県役の内市時と身 城大県科の如きは七八日城底文科けその代り中野県役の内市時と身 城大県科の如きは七八日城底文科 99、この問題について城大像科 | 同日の文科百六十名、理科百八十 名に比すればが一頭の地加である 百八十名、地科二百四十名で昨年 本讀民府

クサイ都ノ

汚名ヲソソゲ

尿畿道ガ乘出シマシ

Ŗ

戦極蛇に狙きを置くことになって一

見る独りです」 「空京城市第町二ノ七一部三面(七) 関邦衆に従事してある局域に對し、別間および身証機道を特に取く 「年後十一時半ごろ網路一ノ五四先、朝鮮教質協議では厳楽の國策で数の代り中等勇校の所見致や日顕 「年後十一時半ごろ網路一ノ五四先、朝鮮教質協議では厳楽の國策で数問題は「可難ける方針です。そ一町一七七至は恒さん(全)は廿七日 「曹貴三广三八宗代戦中)

四時まで)西丁脅薩所脅議等で跨ら三日間(保丁午旬十時から午後 アの内容、申告方法、脳配方法に 業開保の国民、地方社、各種技 問題所の共同主催で二月一日か 言相談師を聞くことしたった 開に疑義を揮み納税に明治を 所内の西で、景記等者は従来が 数が多いので京城府および西

使となり卅月出建するととなった

舞臺に通ずる花道

京畿道が二百萬圓を投じて

四大産業道路の改裝に着手

北鮮鐵道の

賣局員慰問

京城長谷川町 宮鮮製奈合質會社

| 最近これ等の道路指額は諸産衆。るのは常然なことなので保安総で一はしい飲みの指軍が出来るわけ路の欧昊に着手することになつた。今後統み自動車が重要硬されて来 | れる家童秘市大泉域の舞踊に担郷

今後爺を自動車が重要焼されて来しれる緑道が市大京城の舞ぶに相談

まんまと隔して京城積得町味の家 近景、山口漂生北田中マサ子で

軽電から削低二百九十五間をヤー

| 関境勤務の専

分二厘六十九萬四千四百六十六圓 北部殿道の十二年度納附金は襲道

て京城――春川、同――水脈、同二年度には約二百瓦圓近くを投じ

利川、同一の城の四重撃直

金道路を大路完成したが、更に十 微道生水池の手で先づ京に間の黄

出 の羅題目受しく目を追ふて大鬼 も目動画の環境によって建設さ 成 法国も参覧に増加、これに守っ 正都形と意味の交通も共常に顕 路の敷皮を希望してあたものであ 変 て都形と意味の交通も共常に顕 路の敷皮を希望してあたものであ 集になつた、現在京装道の自動。るが、土木識でもこの観察に違ふ 単桁線は他道に比して甚だ棋末 の推進に他道に比して甚だ棋末 の上自動画は中 恵上本格蛇に膨を贈る似乎連貫館 など一年間に六百台も単加する に 『構を基本夢刊で、完成の点は たど一年間に六百台も単加する に 『構を基本夢刊で、完成の点は と云本母版である。

- 上上上の大病院を限なく自った代容前の實地勉強をすることになってある

前借詐欺の 女給と情夫

学校衛生等に就て打合せをなし、 歴機器の曹及、地方病の調査、 の器置會では傳染病薬防、醫

ほか井戸で飛行にも細助金を好へされるので大いに力を入れ、との

「京城から非衛生な臭気を溜出さ 修殺死體

中十七十年後二時的近置路上で屋延順さんは突急都領域面の韓山県祭 元山電話] 元山本町五丁月金節

この互城の便断政府を構局で割づ一寸二の足を断ませる 面その他に軍傷を受けてゐるとこ 「動利な及録言電順部を切録され 旗面接登里茲的表なること傾則、 |撤定し担近の結果同思の事に扱い。 安護者で機械の結果石は安護郡間 *」が設定したこと物明、け八川午 ろから逆帰の未殺害されたものと 死體を誘起したので直もに申告、

Gり送に失機、みどりさんは刺粉 から本町割で触渡車。『『『眼名』と観をさくてく仲と 改のおそれがあるのでサ八十年後

語ふでうにならず結婚の是該しも 景域所能に数数したので逐動も

fustic 猫いらずを買つて来させそ 化変質で自暴酒をあぶり 男子事品 つかのので甘っ日午後十一時電浪

昨夜、表通りの薬店を襲ひ

悠々賈溜金を强奪

| 語数1として純を照いてみたが同の重應で所は複数で手書を受けて特別が同じて発生では明計でには傾かしたものと見られるが世々が開発する場所では複雑を入って、までは、一点には一点にはは、 花灰くびを得たで飲り行かうとし 別化食量の女紅化用みどりさん | あく、三輪は異様はないが呼び目 施工 中を命てた、原始は極い情なない の場で原始と分けあつて聴下し 弦を得て間氏が細里偏本に開設

・ ◇京城街塘湖東三鷺では一日一回 酸インで、大大阪地路をキャトに相関七時 はいった から 師徳時 提出でラチェ 監督を から 師徳時 提出でラチェ 監督を ない から 師 独立 ちゅう から 原語 ひから に 他の 参加をも 敷却 とった て ある 腱で属したカメラハイキングの が作品のうも世務作七十六點を能

敏子さんが、 交上

(コロナ壁)で既に決定的

滋養 安價で 間に合い 豊富

特約店

けでも強いところでは森伊丁、 散だが、それだけ野米の景しめ 京音器極校を卒へるとすぐ疑い 人が出て来る、今頭に浮んだり 販賣店 特製 稿

の春林園の風口に成功最高からば、たく、地球に裏の観測を奏するこ。 毎で行ば世界もこの手でゆく四つに観する原式で、且下先翻除 四百五十号方のディーゼルの選出 に穴をうめつこごを折めたいます。 の途ばが駆けて「事を進程する手物」のた、この動脈は半部の駆屈をかり、たつ食 の途ばが駆けて「事を進程する手物」のた、この動脈は半部の駆屈性が乗り込み階級を振いて大自然と 三螺の脚位完成を行ち入力と計像、脳める前側前を使用することにか乗り込み階級を振いて大自然と 三螺の脚位完成を行ち入力と計像、脳める前側前を使用することにか乗り込み時級を振いて、日下先翻除 四百五十号方のディーゼルの関連機 に穴をうめつここの手でゆく四つに乗りたが開け、乗月二日に 担づてゆくと同時に中央部の山の線は大小十二本のトンネルを組 の物脈を極力地行し、東月二日に 担づてゆくと同時に中央部の山の線に対している。

進める新聞聞を採用することにな

けふの天気

「船に次ぐ中央域の配職「地田」 | 観化するので、標準局では科学庫

中央線の嶮『雉岳』に展開する

自然と人間の闘争

林トンネルは瞬側を開口して穴と

謹 慶尙北道尙州部 學初 校等 偷 賀新年 贤



入:房皇 京東を開 院入 病 院長 醫學博士 **工物田市院**





















貸

看

全接 婦及び時に対象の 原城市資金町三丁自二に五 香味 料 電 師 知 會

電

話。

御竜壁の方は本局三七七七首へ他山一七一番

ツギメ・軍手 製造家募集 「一般のでは、は、まない。」 「のいる」では、は、まない。 「のいる」では、まない。 「のいる。 「のい。 「のいる。 「のいる。 「のいる。 「のい。 「のいる。 「のいる。 「のいる。 「のいる。 「のいる。 「のい。 「のいる。 「のいる。 「のいる。 「のい。 「のいる。 「のいる。 「のい。 「の、 「のい。 「のい。 「のい。 「のい。 「のい。 「の、 「のい。 「のい。 「のい。 「の。

特别拿内

| 茶 豆口 寒内

田田高井三金雄り買し 油鱼西北口、及近天

養聖人自 市場開発性

い照例にすぎないと、脳本は内心・選手

置する一緒になけなぞという品

然しらたがつてゐる気がりを見

「始さんと呼んで見た。

あげ、裏庭の方へ向つてもう。度

と呼びながら勝手口をカラリり

こそんな事はないと信じたいんだ。なくなってしまった。

選子が忘れて行つたものをど

「姉さん」

りだつた。品枝の高しげな眼髄を

どうしてもなほしてやらねばな

とうしてももう一度もとの

昭 同三時一〇分(東) 敬願の時間 世界 教育登録について

同三時四〇分(東)氣泉遊散

九日 (金)

概率はけげんな顔をしてそこに 最後の努力(ご)

> がつてゐる。きもんと片削いてゐ 歌所はなぜかいつもと様子がち思って、勝手の方へ下りて行つた。

ある姉なのをよく知りながらまだ一行つた。すると、最後は既に膨を

『お姉さんがどうかなすつたの』

ね楽顔の良人の**送へ行きたがつて**

たことの出来る姉だとは思べないしたのだらうか。それ程思ひ切つ

ニュース(朝鮮語・笹

同九時 古談 優 港 優 澄

マン

□六時二五分(城)副業講座

ヘロンジプシーのうた

主題な技巧を超えてジプシーの

曹 (第七回) 豊井小學校「學年及」 ドをエルマンが継続にゆアイオリ B (子供會) 同代時(城) D 氏コドモお話會 「ドをエルマンが継続にゆアイオリ

の粧ひは

るくせに、様子がさむんくとして

つてある。いつまで經つても遊がし その姉の希望を聞へてやることが

と言つたま、返答に窮したが、 不安な直提が當つたやうな胸壁 権本はハッと思い書ること

今はほんとのことを言つて気持ち るたんだけどおいつかお願けし くれないしさがしてらつしでる 困つてんだと。就子さんが去つ

といつて三階の楊人を一人髪し

イン物語(後)

がれ組る態度くともしびひとつき|雅はしい壁の連さで流れて行くラ

防庶にラインの浦の風吹きてたそ

(三)なわすれの花

ピスノ作奏

継ぶて開える乙女の歌、主旋は朝 く乙女の神々しい姿、河浪の音を には人間をうしろに資金の壁を流

てと続めて壁く封むし文なりき あやしき湯明ローレライ、それ はカインの河底部では、おなてル ザとハインリツヒの恋感にする

大ヴアイオリニスト。彼はこの樂

器過去洋江影響書

嶋谷汽船株式食社

た、岩岩の見能める巖の上、そこ | 変す暇もなくハインリフヒが手に

げて水に消えた、悲しみにはかな は膨れな草と名づけましたくなつた女の手に纏つた花を人々

(ホ)ポロネーズ

午後零時五分(城)常磐神

竹內區

これは非常に通俗的になってる

1 代型品 北韓國疆路

西班西河西河西河

あるは脳げて行ける岩溝の命を断

る若能と能者はあまりの職級と長、七のみ、影心地のうちに若器と乙 ラインの間を目あてに馬をすくめ、 いつの頃ともわからない遠い昔、で名を聞く若語には答べす今一 の歌に答いる。歌の主は白のもす の明ふ歌は野に描かつて〇丁 毛列菊枝 外

はメッテルニとに憎まれてゐた。だとき身は湯に落ちて『寝室感れ のいろがながれてゐるロンド。 別の神であつた、月暖寺一夜前 そのゆらぎを見つけて解を単ばし、四、第五の二つの部分を演奏する とはコンラフド域、書献を聞け、器に吹く花を見つけて解を単ばし、四、第五の二つの部分を演奏する とはコンラフド域、書献を聞け、器に吹く花を見つけて解を単ばし、四、第五の二つの部分を演奏する とはコンラフド域、書献を聞け、器に吹く花を見つけて解を単ばし、四、第五の二つの部分を演奏する とはコンラフド域、書献を聞け、器に吹く花を見つけて解を単ばし、四、第五の二つの部分を演奏する を映画とした、次部に、書いた。れているが、けふはその第 とはコンラフド域、書が、まない。

女の夜を見失ふた健者は驚いて旺 小川はず、謎の刻く敬美 メファルニヒが他者として言葉を「中に一の一部を花とともに戯に投「一」(イ)」レナードー、フィュモに指されてみた。人と考え目前に落って「民を忘れ」のいろがながれてゐるロンド。

のでいよいと二人は此のひげの小 起されてようよう不重を伝び出り したが、此の人が船長だといふ

から、ステダ館の電電への選「の能調の腱術師である。とはその私にしい言すぐれ続ぎ、やかな郷化、エルマンは多く

ピアノ・・・・ウラデイミール・パドヴァ

少年エルマッに続いたハネカ ーの証許であった

配に係を失けないで言

を緊認させた後、四十

朝鮮郵船定期出帆

九州郵船震川馬

製 朝鮮海洋社 11寸巻町一丁目五市山東田が出帆。 11寸巻町一丁目五市山地が出場とす。 11寸巻町出場とす。 11寸巻町出場とす。 11寸巻町出場とす。 11寸巻町出帆

方の學校で勉強してゐる子供等でしたのでねむくなつてしまいました かつたのです。酒に酵つてしまつじげの小父さんは質は船長ではな とても心配しましたが、膨れてる



劇點重麵類

會モドコKB…

びつくりしてしまひました。丁度 て海の雄大な景色を見てすつかり一かつたのです。 した。二人はとある港の公園へ来 太郎と次郎は二人ともずつと山の

用なあるといふので出かけて行

共魔の芝生のベッチにねむつてあ | 戯張つたのでした。さあ二人はど た大人のひとが、二人のはなしに、

同八時(生)



初めて溶解し作用するが故に、連用 て胃に於て溶解せず、膓管内に於て 並に他覺的症狀を消退せしむ。 を緩解し尿を清澄にし、逐時自覺的 するも胃障害を惹起するここなし。 本劑には特殊の錠衣を施せるを以 |日三回、|回||-二歳を毎倉直後に服用 10年(1厘) 40年(1厘元)

UTENA EACE POWDER

FLESH

可修道區東市阪大 店商衛兵長田武 龤 町本區最本日市京東 店商衛兵新西小譜

大膓菌性膀胱炎 孟炎·膽囊炎

保菌者の菌排泄阻止に

【主効分】 三・六ヂアミノ一〇メチルア クリデニウムクロリッドに

の純正を誇り得べき優秀國産製劑なり。 概ね服用數日にして排尿時の疼痛

に活かします。

1組は総良な自粉を選擇して最も新鮮な活き々々したお 生 p, 1 雅 美 を充 Ä は 然

加热

内 無運輸 || 出 n 大和相回漕部 100番 100番 100番 ひきり新鮮に

之こそ理想的な粉印粉です 素に均等性があり地脈を充 鮮地な八色の色調感! 子の附着形が強いのでムラ 化粧崩れせず永持ちする! 體的な美しさを現します すから自然なフピ・ツキに に劣らぬ純良な粉白粉です 類目の配合成分が均衡に混 ウテナ粉自粉は粒子が細か 女の個性美を充分に發揮す 丁に獨特の工夫がしてあり ノビ・ツキの素晴しさ! これて三大特質を持つ船來 〉決して崩れません … 底 寶 吉 政 保 久・舗本料粧化ナテウ